

「今、何の病気が流行しているか！」

(川崎市感染症発生動向調査事業—平成31年第14週)の情報提供について

市内の定点医療機関から提供された感染症の患者発生情報をもとに市民提供情報である「今、何の病気が流行しているか！（平成31年第14週）」を作成しましたのでお知らせします。

平成31年第14週（平成31年4月1日から平成31年4月7日まで）

第14週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3)インフルエンザでした。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は6.22人と前週（4.92人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は2.32人と前週（2.49人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

インフルエンザの定点当たり患者報告数は0.77人と前週（0.72人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。

今週のトピックス

“[ロタウイルスによる感染性胃腸炎の感染に注意しましょう！](#)”について取り上げました。

感染性胃腸炎はウイルスや細菌などを原因とし、下痢や嘔吐を主症状とする感染症です。例年、流行のピークとなる11月～1月はノロウイルスを原因とする胃腸炎が多く、3月～5月にかけてはロタウイルスによる乳幼児の胃腸炎が増加します。

川崎市においては、昨年12月をピークに感染性胃腸炎の報告数は減少してきましたが、平成31年第14週（4月1日～4月7日）の定点当たり報告数は6.22人と前週の4.92人から増加し、ロタウイルスによる胃腸炎も報告され始めました。

ロタウイルスによる胃腸炎は乳幼児に好発し、年齢が低いほど重症化する可能性が高いため、任意接種ではありますがワクチンによる予防を御検討ください。

※ 川崎市感染症発生動向調査事業では、感染症のまん延の防止と市民の健康の保持に寄与するべく、市内の定点医療機関（小児科37施設、インフルエンザ定点61施設、眼科定点9施設、基幹定点2施設）等から報告された感染症発生状況をもとに集計を行い、市内の感染症の発生状況の正確な把握と分析、市民や医療関係者への情報の提供を行っています。

連絡先 川崎市健康福祉局保健所感染症対策課 小泉
電話044（200）2446
川崎市健康安全研究所 三崎
電話044（276）8250

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

平成31年4月1日（月）～平成31年4月7日（日）〔平成31年第14週〕の感染症発生状況

第14週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) インフルエンザでした。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は6.22人と前週（4.92人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。

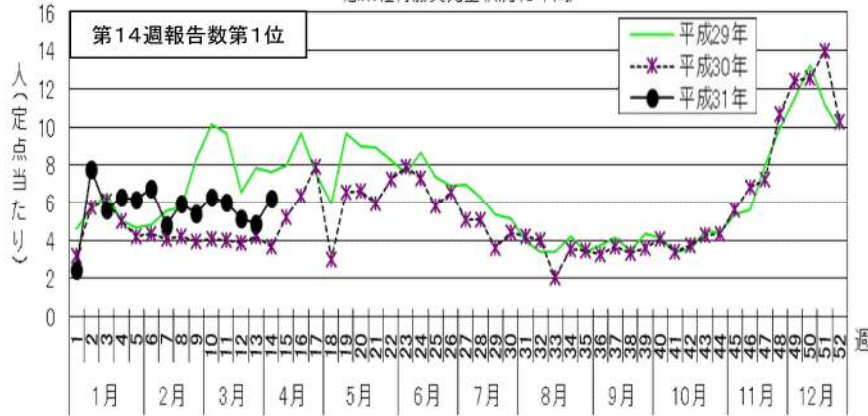
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は2.32人と前週（2.49人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

インフルエンザの定点当たり患者報告数は0.77人と前週（0.72人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。

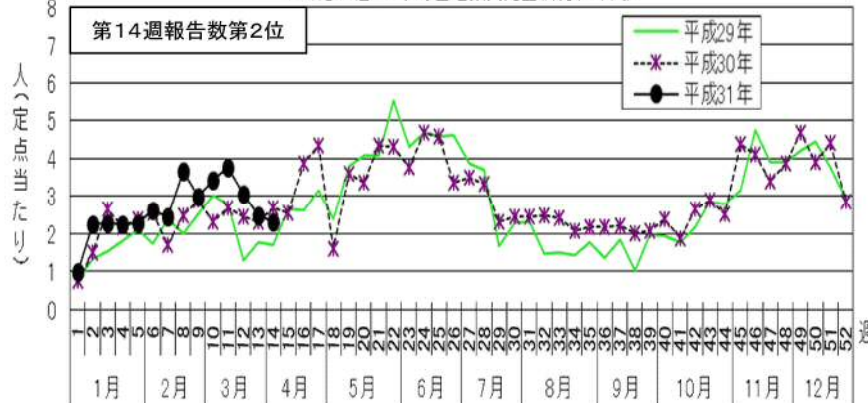
★ロタウイルス★
ロータンくん



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



ロタウイルスによる感染性胃腸炎の感染に注意しましょう！

感染性胃腸炎はウイルスや細菌などを原因とし、下痢や嘔吐を主症状とする感染症です。例年、流行のピークとなる11月～1月はノロウイルスを原因とする胃腸炎が多く、3月～5月にかけてはロタウイルスによる乳幼児の胃腸炎が増加します。

川崎市においては、昨年（平成30年）の12月をピークに感染性胃腸炎の報告数は減少してきましたが、平成31年第14週（4月1日～4月7日）の定点当たり報告数は6.22人と前週（4.92人）から増加し、ロタウイルスによる胃腸炎も報告され始めました。

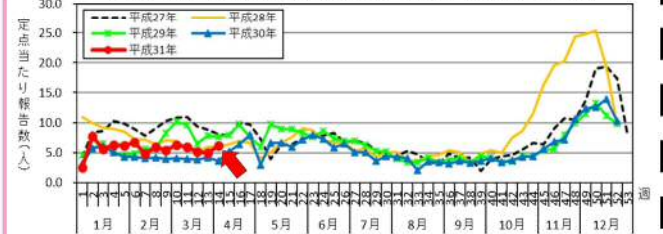
ロタウイルスによる胃腸炎は乳幼児に好発し、年齢が低いほど重症化する可能性が高いため、任意接種ではありますがワクチンによる予防を御検討ください。

ロタウイルスによる感染性胃腸炎

- 感染経路
経口感染
 - 潜伏期間
2～4日間
 - 主な症状
下痢、吐き気、嘔吐、発熱、腹痛など
 - 合併症
脱水、けいれん、肝機能異常など
重症例では、脳症、心筋炎、急性腎不全などもみられる。
- ※けいれんや意識障害などの症状がみられたら、速やかに医療機関を受診しましょう。



川崎市における感染性胃腸炎発生状況(5年間)



ロタウイルスワクチンの接種スケジュールについて

	1価ロタウイルスワクチン (ロタリックス®)	5価ロタウイルスワクチン (ロタテック®)
接種可能期間	生後6週から24週までの間	生後6週から32週までの間
接種回数	2回	3回
接種間隔	前回接種から27日以上	前回接種から27日以上

※両ワクチンともに、初回接種は生後14週6日までにすることが推奨されています。